

しみんこうかいこうざ
市民公開講座 プチレビュー



第49回 ばんたね病院健康セミナー
冬から春へかけての感染症対策

■ 講演：小児科講師 菅田 健先生
■ 開催日：平成28年2月27日(土)
■ 場所：藤田保健衛生大学
坂文種報徳會病院2階 第3会議室

日本では冬から春にかけて多くの感染症が流行します。様々な感染症が知られていますが、大きく分けると呼吸器症状と消化器症状を起こすものがあります。呼吸器症状とは咳嗽・鼻汁・喘鳴等であり、飛沫感染（唾液や鼻汁に含まれる粒子に吸い込んだりすること）で感染します。消化器症状とは嘔吐・下痢・腹痛等であり、多くの場合糞口感染（おむつや吐物に含まれるウイルスに汚染されたものが自然に口から入る）ことで感染します。冬季から春季にかけて流行する呼吸器感染症はRSウイルス・インフルエンザウイルス・マイコプラズマ・百日咳等、消化器感染症はロタウイルス・ノロウイルス等が挙げられます。

感染症の中には VPD (Vaccine Preventable Diseases) と呼ばれるワクチン接種により予防可能な感染症があり、接種は任意ですが、出来る限り接種することが望ましいと考えています。上記疾患の中ではインフルエンザ・百日咳・ロタウイルスがワクチンにより予防可能です。またワクチンには2種類あり、生ワクチンと不活化ワクチンがあります。生ワクチンは、生きた細菌やウイルスの毒性を弱めたものを接種することにより、その病気にかかった場合と同じように免疫をつけようとするものです。一方、不活化ワクチンは、細菌やウイルスを殺して毒性をなくし、免疫をつけるのに必要な成分を取り出してワクチン化したものです。したがって、特に生ワクチンの免疫は強力であり長期間維持されるため効果が高いです。これは2011年からわが国に導入されたロタワクチンにより、年々減少していくロタウイルス胃腸炎患児数が生ワクチンの効果を実証しています。

ワクチン以外の予防法としては、飛沫感染、糞口感染ともに手洗いやマスクの着用が非常に有効です。手洗いやマスクの着用を習慣化し、未然に感染症を防ぐ努力をしてこの時期を乗り切りましょう。

■ 次回の開催
5月 睡眠健康センター 副センター長 野倉一也

看護部 だよ！
ばんたね病院看護部は
定期的に近隣の方向けに
出張セミナーを
開催しています！

■ 次回開催予定
■ 日時：平成28年3月19日(土)9時30分～11時30分
■ 場所：八熊コミュニティセンター

**「いつまでも自分の足で歩こう」
～将来寝たきりにならない為に～**

ロコモ症候群について知り、転んだり寝たきりにならないための運動をしてみてください。どなたでも無料で参加出来ます。当日は軽めの運動も行いますので、皆様お誘い合わせの上、動きやすい服装でご参加ください。

問い合わせ先：看護部8A病棟 TEL:052-321-8171 (代表)

メディア掲載情報

- ◆ 平成27年12月3日(木) 中京テレビ キャッチ「今年のスギ花粉症について」小児科教授 近藤 康人
- ◆ 平成28年2月6日(土) 読売新聞朝刊「花粉症 傾向と対策」呼吸器内科教授 堀口 高彦
- ◆ 平成28年2月8日(月) CBCテレビ イッポウ「突然襲う脳の病気 治療最前線」脳神経外科教授 加藤 庸子
- ◆ 平成28年2月13日(土) 朝日新聞朝刊「近年の花粉症の傾向と対策」呼吸器内科教授 堀口 高彦

藤田保健衛生大学 坂文種報徳會病院
FUJITA HEALTH UNIVERSITY BANBUNTANE HOTOKUKAI HOSPITAL

〒456-8509 名古屋市市中川区尾頭橋3丁目6番10号
TEL 052-321-8171 FAX 052-322-4734 発行 広報委員会

QRコードで今すぐアクセス
<http://www.fujita-hu.ac.jp>

ばんたね 検索

HEARTFUL MEDICAL SERVICE

ばんたねニュース

FUJITA HEALTH UNIVERSITY BANBUNTANEHOTOKUKAI HOSPITAL



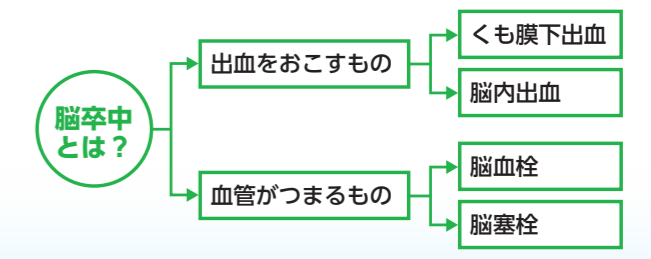
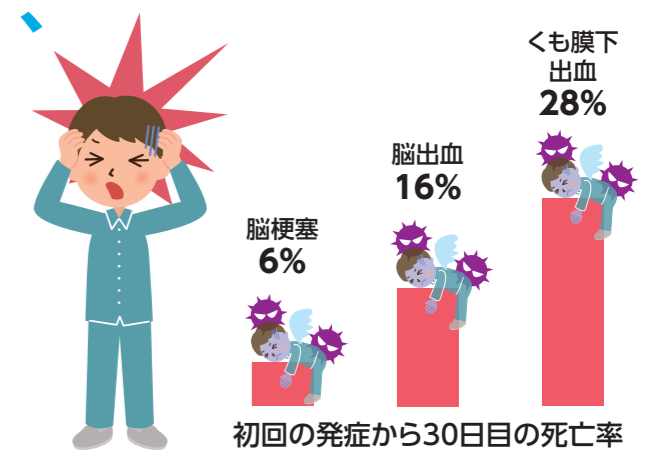
写真は、脳神経外科加藤庸子教授（最前列中央）が世話人となり、平成28年1月31日～2月5日に行われた「脳神経外科 第2回CVDウインターセミナー」の風景。脳血管障害の専門家の育成を目的に、国内外の医師、海外留学生ら47名が参加しました。

VOL. 28
平成28年
3月1日発行

**脳動脈瘤の破裂が引き起こす、
くも膜下出血の危険性とは**

脳卒中には、脳の血管が詰まる場合（虚血性）と、血管が切れる場合（出血性）の2通りがあります。中でも出血の代表に、くも膜の下で脳の底を走る太い血管にできたコブ（動脈瘤）が破れ、くも膜の下に出血が広がるくも膜下出血という病気があります。

くも膜下出血の典型的な2大症状は「今まで経験したことのないような突然の激しい割れるような頭痛と嘔吐」です。出血量が多く重症になれば昏睡状態から瀕死状態となります。くも膜下出血は脳卒中全体の約1割ほどですが、一般的に出血の程度が強く、他の脳卒中と比べて最も死亡率が高く生命の危険が大きい脳卒中です。



くも膜下出血を防ぐため、未破裂脳動脈瘤の検査・治療を考えてみませんか？

くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤は無症状のことが多く、破裂や検査を受けて見つかる場合がほとんどです。当院には通常のCT、MRIのほか3DCTや脳血管撮影が行える最新の機器を揃えており、脳動脈瘤の診断や未破裂瘤のリスクについておよその予知も可能です。ご心配な方はいつでもご相談ください。



教えてDoctor Q&A

Q 動脈瘤はどうしてできるの？

Question

脳内の血管が分岐する箇所等で薄い部分があると、強い血流を受け止めきれず次第に風船のように大きくなり、コブ状になると考えられています。コブが大きくなると、さらに薄い部分が生じ、破裂してしまいます。

A

Answer

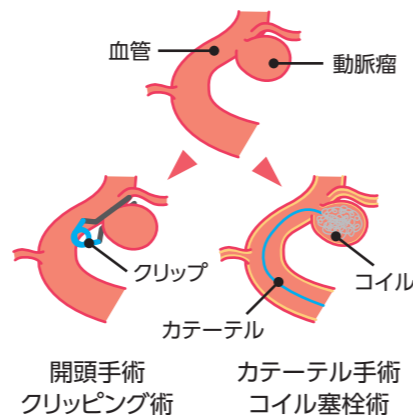
Q 治療はどんな方法があるの？

Question

コイルをコブに詰める「コイル塞栓術」と、クリップでコブを閉じてしまう「クリッピング術」があります。コブの形状や位置、血栓の有無などで方法は異なりますが、くも膜下出血の場合、脳の腫れなどで難易度は高くなりますが、クリッピング術で治療する場合があります。

A

Answer



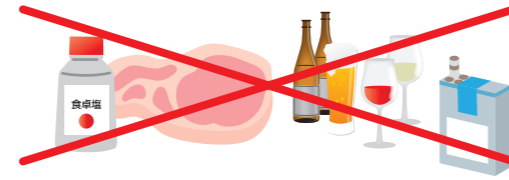
Q 予防方法はあるの？

Question

高血圧の予防が動脈瘤の予防にもつながります。塩分は控えめにし、野菜や果物中心に、肉より魚を好んで食べましょう。また食べ過ぎには注意し、禁酒・節酒・禁煙を心がけましょう。何よりも早期発見が重要なため、脳ドック検査や専門医の診察を受け、必要であれば治療をおすすめします。

A

Answer



多くの栄養素をまんべんなく含む優等生野菜 小松菜の塩昆布あえ



小松菜の特徴

小松菜はビタミン類、ミネラルなどが多く含まれる栄養価の高い緑黄色野菜です。中でも植物に含有量が多いβカロテンという色素を多く含みます。

βカロテン

抗がん作用や免疫賦活作用で知られているほか、体内でビタミンAに変換され、髪・視力・皮膚の健康維持、喉や肺などの呼吸器系統を守る働きがあるといわれています。

大人 1人分	エネルギー	49kcal	塩分	0.7g
	タンパク質	2.1g	鉄分	2.3mg
	脂質	3.7g	カルシウム	157mg

● 材料(2人前)

- ・小松菜 2株
- ・塩昆布 8g
- ・胡麻油 5g
- ・いり胡麻 2g
- ・すり胡麻 2g
- ・ガーリックパウダー 小さじ 1/2

作り方

Recipe

1. ※を混ぜ合わせ、たれを作る。
2. 小松菜を3cm大に切る。
3. 沸騰してから小松菜を鍋に入れ、2分程度茹でる。(お好みで茹で時間を調整してください)
4. 小松菜の水をよくきり、1.で作ったたれを混ぜ合わせて完成です。

お知らせ

スチューデント・ドクター(学生医師)による臨床実習について

本大学病院では、教育施設として医学生の臨床実習をおこなっています。これまでは医学生が診察、手術等の見学、診療に参加させていただくことを、患者さんには院内の掲示による説明で同意をいただいていた。今後は書面で同意の有無を確認することが必要になりましたので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

同意書について詳しくは、担当医師にお尋ねください。



同意書

臨床実習に関する包括同意書

本大学病院は教育施設として医学生の臨床実習をおこなっています。これまでは、医学生が診察、手術等の見学、診療に参加させていただくことを、患者さんには院内の掲示による説明で同意をいただいていた。今後は書面で同意の有無を確認することが必要になりましたので、ご協力をお願いいたします。

○ 医学生による臨床実習を受けることは必ずしも必要ではありません。ご同意を希望する場合は、事前に担当医師に相談の上、スチューデント・ドクター(学生医師)としての同意を受けてください。

○ スチューデント・ドクターは医師の指導のもとで実習を行います。実習内容は、実習開始前に行われる説明会でご案内いたします。

○ 本大学病院は、スチューデント・ドクターが参加する実習は、医師の指導のもとで行われます。実習中は、緊急時には医師の指示に従って対応いたします。

○ 実習終了後、スチューデント・ドクターは、実習内容について報告を行います。

○ 本大学病院は、スチューデント・ドクターが参加する実習は、医師の指導のもとで行われます。実習中は、緊急時には医師の指示に従って対応いたします。

○ スチューデント・ドクターに関するお問い合わせは、担当医師にお尋ねください。

藤田保健衛生大学大学院医学部附属病院 院長 藤田 隆夫
藤田保健衛生大学大学院医学部附属病院 副院長 藤田 隆夫
藤田保健衛生大学大学院医学部附属病院 教授 藤田 隆夫

同意書 医師 藤田 隆夫

患者氏名 藤田 隆夫

〒 藤田保健衛生大学大学院医学部附属病院

同意書 患者 藤田 隆夫

同意書 医師 藤田 隆夫



Doctor Profile

教えてくれたのは…

加藤 庸子先生

プロフィール

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院
脳神経外科教授、脳血管・ストロークセンター長
脳神経外科専門医
日本脳卒中学会専門医
日本脳神経外科学会理事
アジア脳神経外科学会(ACNS)会長など